

NEWS LETTER

VOL. 3
MAR. 2018

グローバルヘルス人材戦略センターのホームページをリニューアルしました
<https://hrc-gh.jp/>

平成 30 年 3 月、センターのホームページを抜本的に改善しました。内容を充実させるとともに、使いやすさの向上に配慮したつもりですが、利用者の皆様からのご意見を伺いながら更に進化させて参ります。今回新たに加えたコンテンツを中心にご紹介しますので、是非、インターネットでアクセス頂きたいと思えます。

1. 「国際機関の求人サイト」のページでは、25 の国際機関（国連機関のみならずグローバルヘルス関係の官民ファンド、国際 NGO などを含む）と 3 つの総合サイトのリンクを並べていますので、希望の機関の空席情報へのアクセスが容易になりました。
2. 「国際機関の空席情報」ページでは、求人サイトに掲載された空席情報を原則として毎週一回巡回して、保健関係の空席情報を抜き出してお知らせします。この情報は Excel のフォーマットでダウンロードが出来、その上で、目標とするポストのグレードや機関名など並べ替えが出来ますので、迅速に希望にあったポストの空席情報にたどり着くことができます。今までは、様々な機関のホームページを一々開かないと新規公募情報がわからなかった不便さを解消しました。
3. 「関係資料」ページでは、ニュースレターのバックナンバーに加え、教育機関等のグローバルヘルス人材に関する講義などで使える情報を随時追加して参ります。

これらの主要なページへは、ホームページ中央の大きな 3 つのバナーから容易にアクセスできるようにし、使いやすくしています。ただし、人材登録システムについてははまだ開発途上です。登録頂いた人材それぞれに合ったポストが公募された場合、迅速に公募情報をお伝えするシステムを目指して、登録から情報提供そして支援まで一気通貫のものとなるように工夫しているところです。



リニューアルした公式ホームページ
 国際機関の最新空席情報やイベント・セミナーの開催案内などがタイムリーに検索できる

重要情報

3 月半ば以来、各国連・国際機関が多くのポストの公募を始めました。その中には、D レベル（部長級：WHO 本部精神健康部長、WPRO の NCD 部長）を始め、多くのポストがあります。また、短期コンサルタントの公募もあります。ぜひ当センターのホームページからご確認下さい。

センターの活動状況：ガイドラインワークショップ



国際的な規範やガイドライン開発は WHO の主要な役割の 1 つです。WHO の専門家委員等で活躍するために、加盟国からの国際貢献とともに日本の医療技術の国際展開にも役立つ「世界保健機関 (WHO) ガイドライン開発への参画を目指したキャリア・ディベロップメントワークショップ」を 3 月 4 日（東京）と 10 日（京都）に開催しました。それぞれ 41 名、23 名の参加者があり、コクランジャパン代表の森臨太郎先生（国立成育医療研究センター政策科学研究部長）がモデレーターを務め、規範セッターの重要性を中谷比呂樹当センター長、WHO の規範設定の原則について、WHO の Susan Norris 博士、そして産科ケアのガイドライン作成の経験については、リバプール大学の Jim Neilson 博士から講演がありました。その後、演習を行い、途上国を含めて全世界で通用するガイドライン作成の難しさや醍醐味について体験していただきました。